

令和6年度使用小学校教科用図書選定に関する報告

〈第六地区教科用図書採択協議会〉

令和6年度から使用する、小学校教科用図書を、公正かつ適正に選定するために調査研究を重ね、選定業務を完了しました。選定の経過、選定結果及び選定の理由並びに選定にかかる委員は下記のとおりです。

記

1 選定の経過

(1) 第六地区教科用図書採択協議会

- 4月28日 ・第1回第六地区教科用図書採択協議会
・役員を選出、選定方針の協議
- 5月9日 ・第2回第六地区教科用図書採択協議会
・選定方針の決定
・北九州教育事務所管内教科用図書調査研究協議会に調査研究について諮問
- 5月24日 ・選定委員の委嘱
・教科書採択説明会
・選定委員会に3種選定を諮問
- 5月25日 ・全中学校に見本本を配布し、学校意見を要請
- 6月23日 ・学校意見書の取りまとめ
- 6月30日 ・調査研究協議会長から答申書受領
- 7月28日 ・第3回第六地区教科用図書採択協議会
・選定委員会の答申を受け、協議の上全員一致で1種選定

(2) 選定委員会（総括部会、選定部会）

- 5月24日 ・第1回選定委員会（第1回総括部会）
・選定委員の委嘱状交付
・委員長、副委員長の選出、選定資料の確認
・選定部会各教科の協議日程の調整
- 6月5日 ・選定部会開催（各教科、全4回）
- ～7月21日 ・調査審議、調査結果報告書の審査
・学校意見書の確認
・3種選定し、報告書の取りまとめ
- 7月25日 ・各教科ごと報告書を事務局に提出
- 7月28日 ・第2回総括部会
・採択協議会に3種選定した結果を答申

(3) 北九州教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

- 4月 ・第1回調査研究協議会（役員選出、日程等協議）
- 5月 ・第2回調査研究協議会（地区採択協から諮問）
- 5月 ・調査研究部会（調査・研究・報告書まとめ）
- 6月 ・第六地区教科用図書採択協議会に調査研究報告書を答申

2 選定にかかる各委員

(1) 第六地区教科用図書採択協議会 (各教育長 5名)

| | | |
|-----|---------|-------|
| 会 長 | 小 宮 順 一 | (水巻町) |
| 副会長 | 蔵 元 洋 一 | (中間市) |
| 監 事 | 中 尾 治 実 | (遠賀町) |
| 委 員 | 三 柵 賢 二 | (芦屋町) |
| 委 員 | 古 賀 弘 明 | (岡垣町) |

(2) 選定委員会 (学識経験者、保護者代表、教員、総勢46名)

| | | |
|--------------|---------|-------------------|
| 会 長 | 鈴 木 邦 治 | (学識経験者 福岡教育大学教授) |
| 副会長 | 下 田 章 人 | (中間市小中学校PTA連合会理事) |
| 選定部長 (国語・書写) | 野 口 浩 | (岡垣町立内浦小) |
| 選定部長 (社会・地図) | 久 保 哲 哉 | (水巻町立頃末小) |
| 選定部長 (算数) | 森 山 公 治 | (水巻町立伊左座小) |
| 選定部長 (理科) | 池 田 辰 也 | (中間市立中間南小) |
| 選定部長 (生活) | 石 田 拓 司 | (岡垣町立山田小) |
| 選定部長 (音楽) | 青 木 美佳子 | (中間市立底井野小) |
| 選定部長 (図画工作) | 奈木野 剛 | (遠賀町立島門小) |
| 選定部長 (家庭) | 島 和 枝 | (水巻町立吉田小) |
| 選定部長 (保健) | 中 野 芳 寿 | (中間市立中間小) |
| 選定部長 (道徳) | 勝 木 久 美 | (芦屋町立芦屋小) |
| 選定部長 (外国語) | 田 口 一 樹 | (中間市立中間西小) |

ほか 副部長 各教科に1名(11名)

選定部員 各教科に2名(22名)

3 選定結果

| 教科書 種目 | | 発 行 者 | | 書 名 |
|-----------|-----|-------|-----|------------------------|
| | | 番 号 | 略 称 | |
| 国 語 | 国 語 | 38 | 光村 | 国語 |
| | 書 写 | 38 | 光村 | 書写 |
| 社 会 | 社 会 | 17 | 教出 | 小学社会 |
| | 地 図 | 46 | 帝国 | 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 |
| 算 数 | | 61 | 啓林館 | わくわく 算数 |
| 理 科 | | 4 | 大日本 | 新版 たのしい理科 |
| 生 活 | | 61 | 啓林館 | いきいき せいかつ |
| 音 楽 | | 27 | 教芸 | 小学生の音楽 |
| 図画工作 | | 9 | 開隆堂 | 図画工作 |
| 家 庭 | | 2 | 東書 | 新編 新しい家庭 |
| 保 健 | | 208 | 光文 | 小学保健 |
| 道 徳 | | 116 | 日文 | 小学道徳 生きる力 道徳ノート |
| 英 語 | | 2 | 東書 | NEW HORIZON Elementary |

4 選定理由

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|------|
| 国語 | 38 | 光村 | 国語 |

選 定 理 由

- 内容の範囲については、学習指導要領に沿い、国語科の目標達成に結びつく内容となっている。
- 各学年の発達段階に応じた内容の程度となっている。
- 「読むこと」単元では、「見通しをもとう」から「ふりかえろう」までの学習の流れが見開きで明示されている。さらに、学習に取り組む段階を、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」といった学習過程に沿って、課題が整理されている。
- 各単元の導入において、「問いをもとう」を位置づけ、この単元で考えたい自分自身の「問い」を持たせ、さらに単元で身につけたい力に関わる目標へとつながるように仕組まれている。
- 一学期の「読むこと」の説明的文章の学習(3年生以上)では、二教材構成で段階的に学べるようになってきている。まず、見開き完結の短い教材で構成を学び、それを活用して長い文章を読むようになってきている。
- 二学期の学習(3年生以上)に、「読むこと」(説明的文章)と「書くこと」を関連させた単元が位置付けられている。説明的文章を適切に読み、その学習で得た力を「書くこと」に生かせる工夫がされている。
- 当該学年で学習した内容を、確かめたり他の学習で使ったりできるように、「大切なこと」が巻末にまとめられている。
- 既習と関連付けて学習が進められるように、単元のはじめに既習事項のページが示されている。
- 学習指導要領における言語事項例が各学年で取り扱えるように配慮されている。
- 単元末の「いかそう」においては、他教科や日常生活での活用の視点を示している。
- 全体の分量は、標準時数から見て適切である。
- 学習指導要領に示された内容が適切に配分されている。
- 教材と関連付けた資料や挿絵が児童の学習内容の理解に有効に働くよう、豊富に配置されている。
- 発表や話し合いなどの動画資料、作者・筆者へのインタビューなど、児童の学習が深まるような補助資料が二次元コードで提示されている。
- 印刷は鮮明で、文字の大きさ、字体、行間と適切である。
- カラーUDやUDフォントを用いて、見やすく読みやすいよう配慮されている。
- 5・6年生では1冊にまとめられており、年間を見通して学習が進められるようになっている。

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|------|
| 書写 | 38 | 光村 | 書写 |

選 定 理 由

- 学習指導要領に示された目標が達成されるような内容の範囲及び程度となっている。
- 各単元が、「考えよう（硬筆）－確かめよう（毛筆）－生かそう（硬筆）」といった共通した構成になっており、見通しを持って学習を進められる内容になっている。
- 低学年においては、キャラクターの猫の動きや擬音語・擬態語で、「とめ」「はね」「はらい」等の筆使いを分かりやすく表現し、運筆を親しみながら学べるように工夫している。
- 「たいせつ」では、学習のポイントが文字説明だけでなく、毛筆画像を用いて、視覚的に分かりやすく示している。
- 中・高学年の「生かそう」において、同じ要素をもつ他の文字を提示し、書写の学びが日常生活に広がるように工夫している。
- 「国語」及他教科との関連教材で、具体的な言語活動例が紹介され、書写での学びが生かされるように工夫している。
- 低学年では、水書用紙を使用した学習が位置づけられ、中学年以降の毛筆学習との関連が図られている。
- 巻末には、前学年での既習漢字、ひらがな・かたかな・ローマ字の一覧表が記載されている。
- 全体の分量は、標準時数から見て適切である。
- 学習の参考となる説明動画や発展学習資料が二次元コードで提示されている。
- 印刷が鮮明で、文字の大きさ、字体、行間と適切である。
- カラーUDやUDフォントにより、見やすく読みやすいように配慮されている。
- 中学校での学習とのスムーズな接続を図るために、第6学年に小学校で学習したことをまとめた「書写ブック」が設けられている。

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|------|
| 社会 | 17 | 教出 | 小学社会 |

| 選 定 理 由 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標、内容、内容の取り扱いに準拠した適切な事象、事例に基づいて教材が掲載されている。 ○ 発達段階に応じて適切な範囲で、不足がない。 ○ 単元の初めに「みんなで作った学習課題」が提示してあったり、1時間の終わりに「次につなげよう」という次時の課題が記されたりしているなど、問題解決的な学習を意識した流れになっている。 ○ 「社会とつながる子ども」を育てるために、多様な場面で活躍されている人の姿や社会的な「選択・判断」や「構想」の場面が多く掲載されている。 ○ SDGs、領土問題や防災、ICT活用など、今日的な課題への取組の取扱いが充実している。 ○ 4年・5年生の教材では、福岡県の事例を多く取り上げ、児童が教材を身近に感じられる工夫をしている。 ○ 3年生では、2年生の生活科からの接続を意識させ、共通点とともに、新たに社会科での見方・考え方を提示するなど、2年生から3年生の接続を工夫している。 ○ 学習段階を（「つかむ」「調べる」「まとめる」）を示し、「問題解決的な学習」の進め方ができるように構成されている。 ○ 教科書の内容と関連する、ウェブサイト「まなびリンク」があり、動画で学習できる工夫がある。 ○ 配当時間に適した分量となっている。 ○ 2017年から最新は、2020年のデータを基に編成されている。 ○ 習得すべき言葉等がキーワードとして整理されている。 ○ AI技術により、歴史の白黒写真がカラー写真になっている。 ○ 重要な言葉は文字の大きさやフォント、色の違いを変えるなど、ユニバーサルデザインを意識してデザインされており、読みやすく作られている。 ○ 3～6年生の各学年で1冊ずつである。 |

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|------------------|
| 地図 | 46 | 帝国 | 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 |

| 選 定 理 由 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 児童の発達段階に応じ、社会的事象の意味や地図記号等が分かりやすく編集されている。 ○ 初めて地図帳に出会う3年生が親しみやすく活用できるよう、「地図のやくそく」を掲載したり、「広く見渡す地図」（縮尺160万分の1）を設けたりしている。 ○ 全学年児童が見やすくわかりやすく調べることができるよう、「都道府県を見る地図」（縮尺100万分の1）、「くわしく見る地図」（縮尺50万分の1）を設けている。また、縮尺を統一し、地域どうしを比較しやすいつくりになっている。 ○ 日本列島と周辺諸国の位置関係を正しく理解できるよう、領土・領海・排他的経済水域などの概念を模式図で表している（主に5年生）。 ○ 歴史学習でも活用できるよう、歴史地名や歴史的事項を豊富に掲載している（主に6年生）。 ○ 外国語、総合的な学習の時間等、他教科でも活用できるよう、英語表記を付記したり、SDGsと関連させた内容を表記したりしている。特に、SDGsの特設ページを設け、SDGsの17の行動目標の背景にある課題についても掲載している。 ○ 地図帳を活用した主体的な学びの支援及び学びの達成感を味わうことができる「地図マスターへの道」を設けている。 ○ インクルーシブ教育に対応し、手話による都道府県名の表し方を紹介した掲載がある。 ○ デジタル端末に対応した600を超えるQRコンテンツと都道府県学習に最適なデジタル地図を用意している。 ○ 妥当な量であり、地図に興味関心をもてるような各種資料が収めてある。（全132ページ） ○ 2022年前後のデータをもとに編成されている。 ○ すべての児童にとって活用しやすいユニバーサルデザインを意識したつくりになっている。 ○ 4年間の使用を考慮した耐久性のあるつくりになっている。 ○ 再生紙、植物油インキを使用し、環境に配慮されている。 ○ テーマごとに色分けしたインデックスを設けている。 |

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|---------|
| 算数 | 6 1 | 啓林館 | わくわく 算数 |

選 定 理 由

- 学習指導要領に示された内容を不足なく取り扱っており、適切である。
- 各学年の児童の発達段階に即した内容になっている。
- 各単元の導入で、既習内容や身近な題材がもととなった問題から始まるように配慮されているなど、子どもに合った教材開発ができています。
- 「めあて」と「まとめ」が示してあり、児童の思考の流れに沿ったページ設定となっている。また、その時間の「数学的な見方・考え方」が示してある。
- 演算の意味理解を深めるために、新出の演算の後に「どんな計算になるのかな」が配置されており、既習の演算から選択し、その時間の「数学的な見方・考え方」が示してある。
- 2年生以上に「算数で使うことば」ページがあり、数学的な表現力を身に付けることができるようにしてある。
- 1年生用に「すたあと ぶっく」がある。ブロックを置きやすいように、机の上で平らに広げることができる。
- 数量の倍関係を理解しやすいように、関係図の形がすべての学年で統一されている。
- 図や数直線の書き方が巻末に整理して示してある。
- 単元を通してスモールステップである。
- レディネスチェックができるように、既習内容をふり返る問題が、単元はじめについている。
- 学習内容を確実に定着できるように、単元末に「まなびのまとめ」がある。また、時間を置いた後に既習内容を思い返すことができるように、「復習」がある。
- 個別最適化された学習への対応のために、巻末の「もっと練習」に基本問題と挑戦問題の2種類が設定されている。
- 1～2ページで1単位時間の内容になるよう、適切な分量で内容が配分されている。
- 児童が予習、復習できるように、2次元コードから「解説動画」を視聴できる。また、2次元コードが多く使われ、若年教師でも使いやすく、ICT活用の面でも便利である。
- 大切な語句を大きくするなどして強調されている。
- 書き込みしやすいように、「一年生すたあと ぶっく」はホッチキス留めで作られている。
- 絵や写真ともに、鮮明で見やすい。
- 文字、配色等を、ユニバーサルデザインを配慮した構成となっている。
- 多様性を認める観点からか、車いすや眼鏡の子どもや、他国ルーツの子どもが登場する。
- 学習に活用できる資料がついている。
- SDGs との関連を重視している。また、プログラミングでの観点でも整理されている。

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|-----------|
| 理科 | 4 | 大日本 | 新版 たのしい理科 |

選 定 理 由

- 学習指導要領に照らし、記載された項目すべてが取り上げられており、適切な範囲で作成されている。
- 学習指導要領に示す、教科及び学年の目標達成に結び付く内容が、適切に取り上げられている。
- 身近な自然の事物・現象を取り上げ、理科の見方・考え方が働くように、観察・実験の視点が掲載されており、問題解決活動を通して、めざす資質・能力を育成できる内容になっている。
- 巻頭には、理科の学び方が掲載され、導入には体感を通して気付きや疑問を持ちやすくなるような内容を多く取り扱っている。考察では予想したことをふり返りながら、考えをまとめる構成にすることで、問題解決能力を高める内容となっている。
- 予想を交流する、観察・実験の記録を取る、結果をもとに話し合うなどの言語活動を単元に位置付け、思考力・判断力・表現力を養うことができる内容になっている。
- 単元末に、学習内容に関わりのある日常生活の事象を取り上げたり、発展的な資料を掲載したりすることで、理科学習の有用性を実感したり系統的な指導が出来るように工夫されている。
- 単元末に学習内容を確認する記述式の練習問題と、学んだきを生かして説明する問題が記載してあり、学習内容を確実に身に付けると共に、理解を深めることができるようになっている。
- 学習内容と関連したSDGsや環境といった現代の課題に対応した資料を多く掲載している。特に、高学年では防災に関する資料が充実している。
- 各分野・各領域の内容に隔たりなく適切に配分されている。
- 発展的な内容を取り扱うことができるように、余裕のある配時で構成され、資料を豊富につけて作成している。
- 巻頭に理科の学び方や使用されているマークの説明をしたり、巻末には他教科とつなぐための資料や観察・実験するための補助資料、記録の仕方、図鑑等を掲載したりして、子どもの主体的な学びをサポートしている。
- A4判で製本され、印刷のイラストや写真、図等は鮮明かつダイナミックで、文字の大きさや行間も適切で分かりやすい。
- 効果的にタブレットが活用されるように、QRコードが多く掲載されており、実験方法等において安全に配慮された動画もある。
- 外国の子どもや車椅子の子どもの挿絵を入れるなどして、グローバル化・多様化に配慮している。

| 教科書の種目 | 発行者の番号 略称 | 教科書番号 | 教科書名 |
|--------|--------------|-------|-----------|
| 生活 | 61 | 啓林館 | いきいき せいかつ |

| 選 定 理 由 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科の目標達成に資するよう、学習活動等が適切に選定・配列されている。 ○ 児童が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、タグや色でわかりやすく示されている。 ○ 言葉、絵、動作、劇化、ICT活用等、多様な表現活動や交流活動が豊富に掲載されて、具体的な活動や体験を通して学習が展開できるようになっている。 ○ 教科書の巻頭に「がっこうだいすき いちねんせい」として、楽しく安心して学校生活を始められるようにスタートカリキュラムを丁寧に扱っている。 ○ 吹き出しや記録カードの記述で、身近な生活に関わる見方・考え方を生かして表現している例が示されている。 ○ 評価に関して「できるかな できたかな？」コーナーで資質・能力別に図や言葉で示されており、児童の自己評価、教師の指導と評価の手がかりとなっている。 ○ 上巻10単元128ページ、下巻8単元128ページ。授業時数に対し適切な分量となっている。 ○ 「びっくりずかん」「がくしゅうずかん」「デジタルたんけんブック」等豊富な資料により、理解度に合わせた指導が行いやすくなっている。 ○ 二次元コードを読み取ると、資料や留意点、活動例が掲載してあり、動画で見ることができる。 ○ 鮮明で美しく印刷されており、発色性に優れている。 ○ 特別支援教育の専門家による監修のもと、全ての児童が見やすいように配色・デザインが工夫されている。 ○ 図鑑ページの写真が美しく、掲載してある資料も豊富である。 |

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|--------|
| 音楽 | 27 | 教芸 | 小学生の音楽 |

選 定 理 由

- 音楽科の目標達成に結び付き、学年の発達段階に沿った内容になっている。
- 小学校学習指導要領に沿って、各学年の取扱い時数が適切である
- 年間を通した「学習マップ」「振り返り」のページが示されており、どのような学習をするのかが分かりやすい。
- 何を学ぶか、何ができるようになるかを視点（思考力・判断力・表現力「考える」、知識「見つける」、技能「歌う」「演奏する」「つくる」）を明確にし、効果的に学習を進められるようにしている。
- 題材ごとにページの縁を色分けし、学習内容のまとまりが分かりやすいようにしている。
- 系統的に日本の伝統楽器を扱い、地域の文化や芸能を紹介するなど、社会科や総合的な学習の時間との連携を図っている。また、調べ学習を進める際の観点や方法を示している。
- 6年生では、「著作権について知ろう」のコラムを載せ、音楽に関する権利について知るきっかけを設けている。
- 系統性のある題材の配列が工夫されている。（オリエンテーション的な題材、音楽を形づくっている要素との関わりを中心にした題材、音楽を形づくっている要素との関わりを中心にした題材、我が国や郷土の音楽を学ぶ題材、学年をまとめる総合題材）
- 各学年の発達段階に合わせ、歌唱の仕方や合唱の仕方が系統的に掲載されている。
- 音楽づくりの活動では、学習の手順が丁寧に示してあり、見通しをもって学習できるようになっている。
- 鑑賞では、図形楽譜と対応させながら、視覚的に旋律やリズムの特徴を捉えることができる。
- 学習しながら書き込みができる「ワークシート」のページがあり、効果的に言語活動ができる。
- SDGs、道徳教育、人権教育につながる視点や配慮があり、教科間を越えた発展的な学習ができる。
- キャラクターの吹き出しを使い、効果的に児童の思考を促すことができる。
- 各領域の内容に偏りがなく調和が取れており、全体の分量は、授業時数から見て適切である。
- QRコードを活用することで、子どもたちの個別最適な学びをサポートすることができる。
- 巻末に音楽の用語、リコーダーの運指のまとめがある。
- 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。また、環境にも配慮されている。
- 歌詞や文章の文字を写真やイラストの中に入れるときには、無地の部分に配置したり背景を白くしたりすることで、読みやすさを確保しており、特別支援教育の視点に立った編集や紙面になっている。
- 挿絵に登場するキャラクターは、様々な人種の子どもが描かれており、国際理解や人権の視点での配慮がなされている。
- 日本を代表する優れた音楽家のアレンジによる書き下ろし曲が多数掲載されている。また、様々な音楽家を写真やコラムで紹介しているので、音楽への興味関心を高めることができる。

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|------|
| 図画工作 | 9 | 開隆堂 | 図画工作 |

選 定 理 由

- 学習指導要領の趣旨をふまえ、範囲及び程度共に、適切に編集されている。
- 材料に直接触れる感覚や作ったり対話したりしながら考えることを大切に、様々な材料や用具を使って、個々の発想を広げ多様な表現ができる題材を設定している。
- 発達段階に応じて、ICT 機器を活用する題材が含まれる。
- 発想・構想を広げることが中心課題となっている題材では、紙面で発想・構想を促すように投げかけをされている。QR コードから「アイデアシート」をコンテンツとして利用できるようになっている。
- 作品を発展的に学習する内容や地域や伝統文化から学ぶ内容がある。
- 共同で行う活動や他者を意識した活動、児童が話し合う場面を多く取り入れ、対話的な学びや相互理解を促す内容になっている。
- 各学年「ひらめきコーナー」を設定し、児童が気軽に造形遊びを楽しめるように、工夫している。
- 巻末の「学びのしりょう」では、各材料が活かせるように、用具や材料の知識及び技能に関する内容だけでなく、鑑賞の仕方や話し合いの仕方、発想の広げ方等の造形的なものの見方や考え方も掲載されている。
- 各題材では、資質や能力に関わる三つの目標のうち、一つを中心的な目標として強調して示し、主な目標に対応したキャラクターが児童の学習を深める支援を行うように全編を通して編集されている。
- 「あわせてあそぼう」コーナーで関連教科が明示されている。他教科との関連では、具体的にどの領域で活かしたらよいか、分かりやすく紹介している。外国語科との関連では、外国の作品を多く紹介している。また、系統的に題材が構成されており、発展的系統的に指導できるように配慮している。
- 振り返りでも、QR コードを活用でき、言語活動の充実が図れるようになっている。
- 上学年で、児童の実態に応じて表現方法や材料・用具などを選択できるようになっている。
- 安全や片付けについても、分かりやすく掲載されている。また、班や個人で材料を準備する場合について、それぞれ丁寧にわかりやすく提示されている。
- 各学年の年間授業時数に応じた適当な分量で、工作に表す題材と絵や立体に表す題材の授業時数がほぼ等しく配当されている。
- 題材は「工作に表す」がやや多く、「立体に表す」がやや少ない。
- 準備、導入、展開、振り返りまで、見開きで紙面化されている。題材は楽しい題材名、わかりやすいリード分で学習への意欲を喚起するように構成されている。QR コードから見られるデジタルコンテンツ「はじめに」動画では、キャラクターが登場してこれから始まる学習内容や重点課題をわかりやすく説明し、経験の浅い教師にも授業の導入がわかりやすいようにしている。
- QR コードを掲載し、色々な作品の制止画、また制作の手順や用具の使い方の動画をすぐに見ることができるようにしている。
- カラーユニバーサルデザインに配慮され、吹き出しや作品のコメントが目立つような、背景色になっている。
- 発達段階に応じた文字の大きさで、字体、行間とも適切である。
- 表紙、中ともに厚めの紙質で、環境に配慮したインキや用紙を使用しており、印刷は鮮明で開きやすい製本である。

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|----------|
| 家庭 | 2 | 東書 | 新編 新しい家庭 |

選 定 理 由

- 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。
- 教科書の冒頭に、生活の見方、考え方の4つの視点を「家庭科の窓」として示してある。題材ごとに、各領域の学習内容を関連させて取り扱えるようになっている。
- 巻頭の「成長の記録」は、単元ごとに目標を設定し、自己評価ができるように記述欄があり、自己の成長過程が分かりやすい。
- 題材の内容構成において、「夏の生活」と「衣服について」等、分けることで詳しく学習することができるよう編成されている。
- ガイダンスで、誕生からこれまでの成長をふり振り返り、2年間の学習の見通しがもてるよう図示されている。
- 学習の進め方を「見つめよう→計画しよう・実践しよう→生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」と3ステップで示し、対話的な問題解決学習が図られる展開になっている。
- 各題材では、活動1で、自分の生活を見直し、書き込むトライシートが記載されている。さらに、活動2・活動3で調べたり、製作したりして学習を進め、活動4でワークシートを活用して学習の定着を図るという流れになっている。
- C「消費生活・環境」の内容については、消費生活と環境を複合的に扱っている。物やお金の使い方を学習し、SDGsにつなげており、発達段階をふまえて児童が取り組みやすくなっている。
- 「プロに聞く」コーナーがあり、仕事や家庭生活への興味が高まるよう工夫されている。
- 安全面・衛生面について安全マークを記載し、丁寧に説明されている。
- 各学年の題材内容が適切に配列されている。
- QRコードによる動画の内容説明が、詳しく丁寧。調理の手順は、わかりやすく、右利きと左利きの場合の双方があった。
- 児童の主体的な活動を促すように、製作、実習における資料が豊富に掲載されている。
- 思考力の育成、知識・技能の定着のために、思考ツールのコンテンツ（トライシート）、実習ノートが掲載されている。
- 目次の番号が教科書の右端に載っていて、何の学習かがマークで色分けされているので、分かりやすい。
- 判型がA4判で製本されている。
- 写真やイラストの背景色がなく、全体的に白っぽい。
- ユニバーサルデザインに基づき、フォントや太字など、より分かりやすくなるように配慮されている。

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|------|
| 保健 | 208 | 光文 | 小学保健 |

選 定 理 由

- 学習指導要領に示された内容の範囲及び程度になっている。
- 学習の進め方を5段階「1：自分の生活をふり返る」→「2：学習の課題をつかむ」→「3：課題解決に向けて学習活動をする」→「4：学習をまとめる」→「5：自分の生活に生かす」で統一し、各学習活動場面が分けて示されている。
- 「この人に聞く」「科学のとびら」「解説」等の内容に付随するマークが組み込まれている。単元の最後には、単元のまとめとしての確認問題や振り返りのページが設けられている。
- 学習内容によって、他学年や他教科とのつながりが示されている。
- 各章の始めの扉絵に、学習する内容が日常生活のどの場面なのかイメージしやすいように、漫画によるストーリー形式で提示している。
- 動画の内容が充実しており、目で見て分かりやすいものとなっている。
- 文章中における大切な言葉等が太字で表示されており分かりやすい。
- 「広げよう」「深めよう」の発展的な学習では、学級活動とつなげて日常化を図ることができるようになっている。
- 文字数はやや多めで、絵図やイラスト、写真等の資料も多めになっている。
- 1単位時間に学習する範囲は、2～4ページで構成されている。また、UDフォントを使用したり、文節での改行等を行ったりすることで全ての児童が支障なく学習できるように留意している。
- 割付が整っており、特別支援学級の児童にとっても見やすいものとなっている。
- 表紙は丈夫で汚れにくく、印刷・製本等はA4判の大きさに適切につくられている。
- インターネットを活用した学習ができるように、ウェブサイトに掲載したり、二次元コードを配置したりしている。また、インターネットを使う際の注意事項も明記している。

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|--------------------|
| 道徳 | 116 | 日文 | 小学道徳 生きる力 道徳ノート |

選 定 理 由

- 学習指導要領に示す教科、学年領域の内容及び内容の取り扱いに示す事項を不足なく取り上げている。
- 内容の程度は、それぞれの学年の児童の発達段階に適応している。
- 現代的な課題として、新型コロナウイルス感染症、自然災害、戦争、SDGs、情報モラルなどが取り上げられている。
- 各教材には、ねらいに迫る中心となる発問や、学習したことを振り返ったり、これからの自分を見つめたりするための発問が示されている。
- 別冊の道徳ノートには毎時間考えたことや児童の自己評価欄など教師や児童が自由に使えるスペースが設定されており、「自分ごと」として考えを深めることができる内容になっている。
- コラムページ「心のベンチ」では、いじめ、情報モラル、多文化共生、SDGs、自己肯定感の5つのテーマが取り上げられている。
- 各学年5教材程度、授業展開が例示されている教材があり、問題解決的な学習や体験的な学習など、多様な学習ができるよう配慮されている。
- 二次元コードを読み取ることにより、教材理解を深めたり、学習意欲を高めたりできるツールがある。また、スムーズに交流活動に活用できるよう配慮されている。
- 年間標準時数分の教材(1年は34本、2～6年は35本)とは別に、付録として3本が設定されている。
- 4つの視点ごとに重点内容項目が設定され、時数に軽重がつけられている。
- コラム「見つけた！ここにも道徳」は、日常生活の中から、道徳的価値を見つけることができる内容になっており、児童が、生活と道徳科の学習をつなげることができるようになっている。
- AB判が採用されている。
- 各学年、学習の記録を残すことができる「道徳ノート」が別冊としてついている。

| 教科書の種目 | 発行者の番号 | 発行者略称 | 教科書名 |
|--------|--------|-------|------------------------|
| 外国語 | 2 | 東書 | NEW HORIZON Elementary |

| 選 定 理 由 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に沿って編集され、4技能5領域の内容がバランスよく配列されており、適切である。 ○ 2年間を通して、自分→地域→日本→世界→夢へと学習が広がり、児童の知的好奇心が満たせるような内容構成になっている。 ○ 「出会う→慣れる→親しむ→広げる」という各単元の構成が、児童の思考、興味関心とマッチし、スムーズな学習展開が期待できる。 ○ ねらいに即したアルファベットを使って「書くこと」が、繰り返し位置付けられている。 ○ 児童がSDGsを身近に感じることができるようになっている。 ○ 4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）の学習が適切なタイミングで入れられている。 ○ 各単元4パートで構成されており、慣れ親しみから知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力などを働かせる活動へと段階を踏んだ構成となっている。 ○ 様々な国の人物や題材、国による発音の違いなどが取り上げられ、異文化理解や多様性、国際理解に繋がる。 ○ 適量である。 ○ 記述する欄が多く充実している。 ○ CAN-DOチェックシートが付属本「My Picture Dictionary」にあり、何ができるようになったのか児童自ら確認しながら新しい単元へと進むことができる。 ○ 「My Picture Dictionary」が別冊であり、単語を自分で調べることができる。（5、6年生で1冊） ○ カラーUD、UDフォントを使用している。 ○ 紙質は、軽量で丈夫、裏抜けしにくいものを使用している。 ○ デジタルコンテンツがたいへん豊富であり、様々な活動で使えて、とても便利である。（デジタル教科書） |